

## 2024年スポーツクライミング国際競技大会派遣選手選考基準

### 1. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

### 2. 日本代表チームの目標

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）において金メダルを含む複数メダルを獲得する。
- (2) 単種目での世界ランキング1位から40位までの成績を多くの選手が収めることにより恒久的に日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (3) IFSC ワールドカップにおける全種目での国別ランキング1位を目指し、国際的に「強い日本」を印象づける。

### 3. 各国際競技大会における選手選考基準

#### (1) IFSC クライミングワールドカップ 2024

##### ① 選考方針

- a. 第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）まではパリオリンピック出場選手及び参加可能性のある選手を最優先に選考する。
- b. 単種目での優勝を目指し、日本代表選手団として各種目国別ランキング1位獲得への貢献が期待できる選手の中から選考する。

##### ② 国際競技大会派遣のための必要条件

- a. 2024年12月31日時点で16歳に達していること
- b. 当協会登録選手規程に従いA登録をしていること
- c. 該当種目の2024年国内選考大会（③）に参加すること。ただし、指定感染症への感染などの特別な事情により参加できない場合はその限りではない。

##### ③ 2024年国内選考大会

- a. ボルダージャパンカップ 2024（2024年2月、佐賀県多久市）
- b. リードジャパンカップ 2024（2024年2月、佐賀県多久市）
- c. スピードジャパンカップ 2024（2024年2月、佐賀県多久市）

##### ④ 選考基準

各大会・種目において3(1)⑤の参加枠を満たすまで以下の参加優先順に従って、参加選手を選出する。

参加 優先順	日本代表選手区分及び選考基準	選出予定人数	備考
1	パリオリンピック内定選手	別紙参照	第 33 回オリンピック競技大会 (2024/パリ)終了までの期間 を対象とする
2	オリンピック予選シリーズ参加 選手	別紙参照	・オリンピック予選シリーズ (2024年5.6月開催)終了まで の期間を対象とする ・該当する1種目につき1大会 のみ選出する
3	IFSC 枠保有選手 (該当種目に限る)	別紙参照	2023 年世界ランキング 10 位 以内の選手数
4	【リード、ボルダー】 国内選考大会の上位選手 (該当種目に限る)	優先順1,2,3を除く 男女各 <b>8名</b>	・国内選考大会の上位成績者か ら優先的に各大会の派遣最大 数まで派遣する ・同着となった場合は該当する 選手達が同時に出場した直近 の国際競技大会(世界ユース選 手権大会等を含む)、ジャパン ツアーの結果の上位者から優 先的に選出する
	【スピード】 a. スピードジャパンカップ 2024 で3位以内の選手 b. IFSC または JMSCA が主催・ 共催・公認するスピード種目の大 会において2024年選手派遣標準 タイムである <b>男子 5.70 秒以内、 女子 8.40 秒以内</b> の記録を出した 選手	選考基準の該当とな った選手数	・個人最高記録の上位者から優 先的に各大会の派遣最大数ま で派遣する ※1 ・派遣を決定する個人最高記録 は派遣対象大会の30日以前の ものとする ・対象とする期間は <b>2024年2 月から6月30日まで</b> とする
その他	特別追加選手  ※該当選手がいた場合は、優先順 1,2,3に次ぐ優先順で選出する	男女最大各 <b>2名</b> (該当選手がいた場 合のみの選出) ※上位6位以内の選 手が3名以上いた場 合は成績上位者から 2名を選出する	2024年IFSCクライミングワ ールドカップで該当種目にて 上位6位以内の成績を収めた 男女最大各2名の選手を次の 1大会に派遣する。ただし、派 遣対象大会は該当成績を収め た日から30日以降の次の1大

			会とする
--	--	--	------

※1 記録が同タイムの場合は、それでも決定しない場合はそれぞれの2番目の記録で比べ、より速い記録を持つ選手を優先する。

⑤ IFSC 枠保有選手及び国別枠について

a. IFSC 枠保有選手（別紙）

2024年1月1日時点で該当種目の**世界ランキングが10位以内**であること。

b. 国別枠

日本以外で大会が開催される場合は、ボルダー男女最大5名ずつ、リード男女最大5名ずつ、スピード男子最大4名/女子最大5名が参加できる。これは2023年日本代表選手達の世界ランキングの結果に基づく。

c. チーム構成、予算、安全面等の状況を総合的に判断し、多数の派遣が困難な大会についてはIFSCルールに記載されているa・bの基準の派遣枠よりも少ない選手数を派遣する場合がある。

⑥ 派遣選手決定時期

基本的に派遣選手については各大会の70日前を目処に決定し、大会開催前までに公表する。ただし、特別追加選手やスピード種目において個人記録が上回る選手がいた場合は派遣の30日前に大会派遣選手の入替えが行われることがある。

(2) その他の国際競技大会について

その他の国際競技大会の開催が決定となり次第 別途選考基準を公表し、選手選考をおこなう。

4. その他

(1) IFSCルール等が変更された場合及び大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。

(2) 選手への渡航費や宿泊費等の補助の詳細については、2024年度強化委員会予算決定後に選手へ通知する。

(3) 感染症等による大会の延期になった場合及び国内選考大会が予定通りに実施できなかった場合には可能な限り早急に特別措置を公表した上で派遣対象選手を決定する。

以上

## 2024年IFSC 枠保有選手等の一覧

### 1. IFSC クライミングワールドカップ 2024 IFSC 枠

#### 「ボルダー種目」

安楽宙斗、檜崎智亜、緒方良行、檜崎明智、野中生萌、森秋彩

#### 「リード種目」

安楽宙斗、本間大晴、小俣史温、百合草碧皇、吉田智音、緒方良行、森秋彩、谷井菜月

#### 「スピード種目」

該当者なし

### 2. 第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）

#### 「内定選手（2024年1月1日時点）」

・B&L種目：安楽宙斗、檜崎智亜、森秋彩

#### 「オリンピック予選シリーズ（2024年5、6月開催）参加予定選手」

・B&L種目：野中生萌、伊藤ふたば、中川瑠、久米乃ノ華

・スピード種目：大政涼、安川潤、竹内亜衣、林かりん、河上史佳、林奈津美